

富山県医療計画＜小児医療＞への取り組み状況

指 標	現 状			課 題	主 な 施 策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み	目標 2017年																																				
	国策定時	県策定時	県直近																																									
●乳児死亡率	2.3 (出生千対) (H23)	2.0 (出生千対) (H23)	2.7 (出生千対) (H25)	■小児救急医療機関の負担軽減のため、小児科医の確保などが必要。  ■小児救急医療機関の負担軽減のため小児救急電話相談(#8000)の普及啓発が必要  ■重症度や緊急度に応じて、適切な受診が行われるよう、県民への啓発が必要	●小児科医の確保  ●女性医師の勤務環境の整備に対する支援  ●小児救急電話相談(#8000)の普及啓発	○医学生への修学資金の貸与  ○女性医師の勤務環境の整備促進、定着支援  ○小児救急電話相談(#8000)の普及啓発  ○小児救急医療ガイドブックの配布	○小児科医師数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>富山県</th> <th>新川</th> <th>富山</th> <th>高岡</th> <th>砺波</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>148</td> <td>9</td> <td>90</td> <td>38</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>147</td> <td>9</td> <td>89</td> <td>39</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>150</td> <td>9</td> <td>92</td> <td>40</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>158</td> <td>8</td> <td>99</td> <td>42</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>152</td> <td>7</td> <td>96</td> <td>39</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		富山県	新川	富山	高岡	砺波	H16	148	9	90	38	11	H18	147	9	89	39	10	H20	150	9	92	40	9	H22	158	8	99	42	9	H24	152	7	96	39	10	●乳児死亡率、乳幼児死亡率 ⇒低下 ●小児科医師数 ⇒12人 (小児人口1万対)  ●休日夜間小児急患センターが整備された医療圏 ⇒現状維持 ●24時間365日対応可能な小児救急が整備された医療圏 ⇒現状維持 ●第二次・三次救急病院の救急外来受診者の中で入院が必要でなかった割合 ⇒低下
	富山県	新川	富山					高岡	砺波																																			
H16	148	9	90					38	11																																			
H18	147	9	89					39	10																																			
H20	150	9	92					40	9																																			
H22	158	8	99					42	9																																			
H24	152	7	96					39	10																																			
●乳幼児(0-4歳)死亡率	0.67 (乳幼児人口千対) (H23)	0.59 (乳幼児人口千対) (H23)	0.59 (乳幼児人口千対) (H25)																																									
●小児(0-14歳)死亡率	0.30 (小児人口千対) (H23)	0.25 (小児人口千対) (H23)	0.21 (小児人口千対) (H25)																																									
●小児科医師数	9.4人  (小児人口1万対) (H22)	11.1人 新川 5.1人 富山 14.6人 高岡 10.3人 砺波 5.2人 (小児人口1万対) (H22)	10.9人 新川 4.6人 富山 14.3人 高岡 9.8人 砺波 5.9人 (小児人口1万対) (H24)																																									
●公的病院での小児科医師の必要数と不足数		必要数 73人 不足数 8人 (H23)	必要数 72人 不足数 9人 (H25)																																									
●休日夜間小児急患センターが整備された医療圏		4医療圏 (H24)	4医療圏 (H25)																																									
●24時間365日対応可能な小児救急の整備された医療圏		4医療圏 (H24)	4医療圏 (H25)																																									
●小児初期救急医療機関の受診者数		105.2人 (1日当たり) (H22)	93.1人 (1日当たり) (H23)																																									
●第二次・三次救急病院の救急外来受診者の中で入院が必要でなかった割合		76.8% (H22)	79.1% (H23)																																									
●小児救急電話相談(#8000)の件数		4,808件 (H23)	5,458件 (H24)																																									

